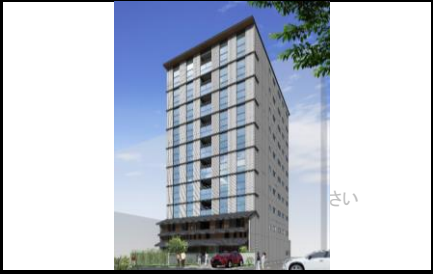


CASBEE® 京都-新築

標準システム

■使用評価マニュアル：CASBEE京都-新築（2015年版）|使用評価ソフト：CASBEE京都-新築2015（v.1.0）

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)KRD塗師屋町開発ホテル新築プロジェクト	階数	地上10F 地下1F
建設地	京都市中京区車屋通伸小路下る塗師屋町339番、341番	構造	S造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	185 人
気候区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年
建物用途	ホテル	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年3月 予定	評価の実施日	2017年12月1日
敷地面積	532 m ²	作成者	中村篤史
建築面積	314 m ²	確認日	2017年12月20日
延床面積	2,735 m ²	確認者	林 誠



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.0

環境品質 G vs 環境負荷 L

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 100%
②建築物の取組み 82%
③上記+②以外の 82%
④上記+ 82%

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

Q1 室内環境
Q2 サービス性能
Q3 室外環境 (敷地内)
LR1 エネルギー
LR2 資源・マテリアル
LR3 敷地外環境

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 2.7

Q1 室内環境

Q1のスコア= 2.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.7

LR のスコア = 3.2

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.9

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.3

3 設計上の配慮事項		
総合	中京区に新築されるホテルの計画である。高効率の設備機器の採用によりエネルギー消費量に配慮した計画としている。	その他 特になし。
Q1 室内環境	化学汚染物質について内装材には全面的に規制対象外、告示対象外の建材を採用している。また開口部を大きくすることで昼光率の向上に貢献している。	Q3 室外環境 (敷地内) 歩道とホテル正面の間に植栽や庇を設けることで、敷地内温熱環境に配慮している。
LR1 エネルギー	LED等高効率設備を採用しエネルギー消費量の削減を図った。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ の削減に配慮した。
Q2 サービス性能	更新間隔の長い内装材、ダクト、配管などを採用し建物耐用性の向上に配慮した。	
LR2 資源・マテリアル	ユニット部材OAフロアを採用することで、部材再利用性の向上に配慮した。	

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される